

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年2月15日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	3週	4週	5週	6週	警報レベル		注意レベル
	1月15日～1月21日	1月22日～1月28日	1月29日～2月4日	2月5日～2月11日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ [#]	15 5.00	15 5.00	13 4.33	20 6.67	30	10	10
新型コロナウイルス感染症 [#]	32 10.67	64 21.33	85 28.33	53 17.67	-	-	-
RSウイルス感染症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
咽頭結膜熱	0 —	4 2.00	1 0.50	1 0.50	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 8.50	10 5.00	11 5.50	15 7.50	8	4	-
感染性胃腸炎	15 7.50	12 6.00	17 8.50	17 8.50	20	12	-
水痘	1 0.50	3 1.50	1 0.50	0 —	2	1	1
手足口病	0 —	0 —	0 —	0 —	5	2	-
伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	-
突発性発しん	0 —	0 —	1 0.50	0 —	-	-	-
ヘルパンギーナ	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	-
流行性耳下腺炎	0 —	0 —	1 0.50	0 —	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(0～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	Ⅱ	2/14～2/20	353人
前週	I	2/7～2/13	310人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【全数報告疾病】

4類:レジオネラ症 男性1名

5類:水痘(入院例) 男性1名

※全数報告疾病…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より増加しました。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より減少しました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌)は前週より増加し、警報レベル継続中です。
- ・感染性胃腸炎は前週と同数の発生数です。

【集団発生情報】

新たな集団発生の報告はありません。

【感染症コラム～伝染性紅斑(りんごほっぺ病)～】

- ・小学校低学年を中心にみられる流行性発疹性疾患で、パルボウイルスが原因です。
- ・10～20日の潜伏期の後、頬の紅斑(りんごの頬)に続いて手足に網目状の発疹が出現します。発疹は1週間程で消失することが多いです。
- ・頬に発疹が出現する約7～10日前に微熱や感冒様症状が見られることが多く、ウイルスの排出量が最多かつ感染力が高い時期です。発疹出現時期にはウイルスの排出はほとんどなく、感染力はほぼ消失しています。
- ・感染経路は飛沫・接触感染ですが、ウイルス排出期には特徴的な症状を示さないため、予防が困難です。
- ・妊婦が感染すると胎児水腫や流産の恐れがあるため、流行期には注意しましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>